

【NEWS RELEASE】

2021年12月24日

各 位

株式会社三井住友フィナンシャルグループ
株式会社三井住友銀行マンション管理業界向け新規デジタルサービスの共同開発に関する覚書締結について

株式会社三井住友フィナンシャルグループ（執行役社長グループ CEO：太田 純、以下、グループを総称して「SMBC グループ」）の連結子会社である株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠、以下「三井住友銀行」）は、株式会社 NTT データ NJK（代表取締役社長：横田 武、以下「NJK」）と共同開発に向けた協力覚書を締結しました。今後、マンション管理会社・管理組合のお客さまのデジタルトランスフォーメーション（以下「DX」）を実現する新規デジタルサービスの検討を開始いたします。

これまで三井住友銀行はマンション管理適正化法を踏まえたインターネットバンキングサービス「e 承認サービス」などを、NJK はマンション管理組合会計ソフト「FMS-組合会計」などを、数多くのマンション管理会社・管理組合のお客さまにご提供してまいりました。

しかし、マンション管理にまつわる業務には、マンション維持に関する請求書の受領、支払のための承認取得、理事長の交代に伴う各種手続きなど、書類（紙）・ハンコ・対面往訪などを必要とする業務が多く残っており、深刻化する労働力不足の解消やコロナ禍における新たな働き方を実現するために DX を加速させていく必要性がますます高まっています。また、銀行においてもマンション管理に関連する窓口事務等が多く残っている状況にあります。

三井住友銀行と NJK は、銀行の機能と会計ソフトを融合する新しいデジタルサービスを共同開発することで、金融・会計それぞれの領域に留まらない利便性の高いデジタルソリューションをマンション管理業界向けに提供できるとの合意に至り、両社による具体的な検討を進めていくこととなりました。

共同開発にあたっては、SMBC グループ各社が持つ各種の金融・非金融ソリューションと、NJK が 20 年以上にわたり培ってきたマンション管理業務のノウハウ及びシステム開発実績を最大限に活用することにより、マンション管理会社・管理組合・居住者の利便性向上と業界全体の DX 推進に貢献してまいります。

なお、本件は、SMBC グループ内で展開している社内 SNS にて、マンション管理会社を担当する三井住友銀行の営業担当者がプロジェクト化を提起し、サービス開発の検討、NJK との共創プロジェクトとして、本部各部署横断でチームアップを行い、予算承認され、社内 SNS 発の新規事業 1 号案件となる見込みです。

SMBC グループは、今後もソリューションプロバイダーとして、複雑化する社会課題の解決やお客さまの多様化する経営課題やニーズに幅広くお応えし、国内産業の発展に貢献すべく、グループの総力をあげて取り組んでまいります。

以 上